



長浜市  
NAGAHAMA

# 長浜市定住自立圏構想について

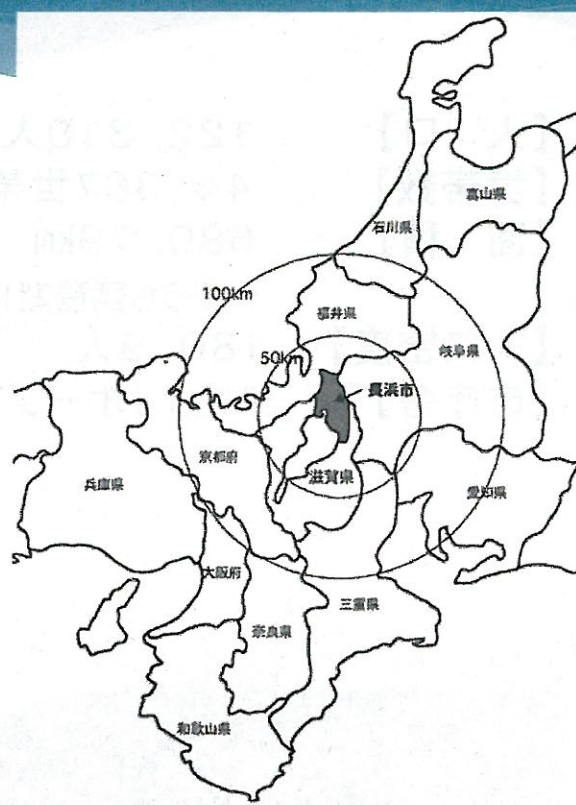
2015. 3. 12

企画部企画政策課 副参事 中田重樹

## ■長浜市の位置

### 【位置】

- 日本を中心



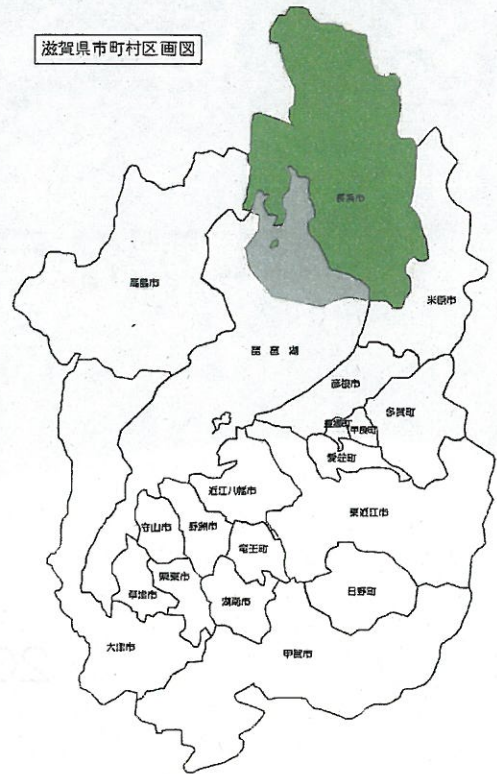


## ■市の概要

### 【位置と地勢】

- 滋賀県最北の市
- 北は福井県、  
東は岐阜県に接する
- 中央に湖北平野。  
周囲は伊吹山系と琵琶湖  
に囲まれる
- 京都市、名古屋市から60km  
圏域、大阪市から100km圏  
域
- 主な史跡…長浜城、小谷城跡  
賤ヶ岳古戦場、  
姉川古戦場

滋賀県市町村区画図



3

## ■市の概要

【人 口】 122, 310人(H26.4.1現在)

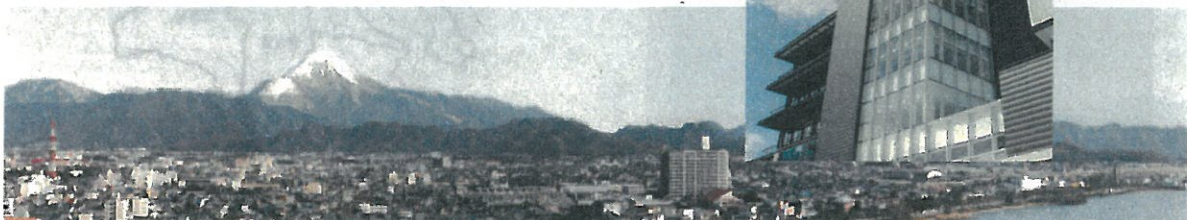
【世帯数】 44, 367世帯

【面 積】 680.79km<sup>2</sup>

※うち琵琶湖141.31km<sup>2</sup>、うち可住地面積164.40km<sup>2</sup>

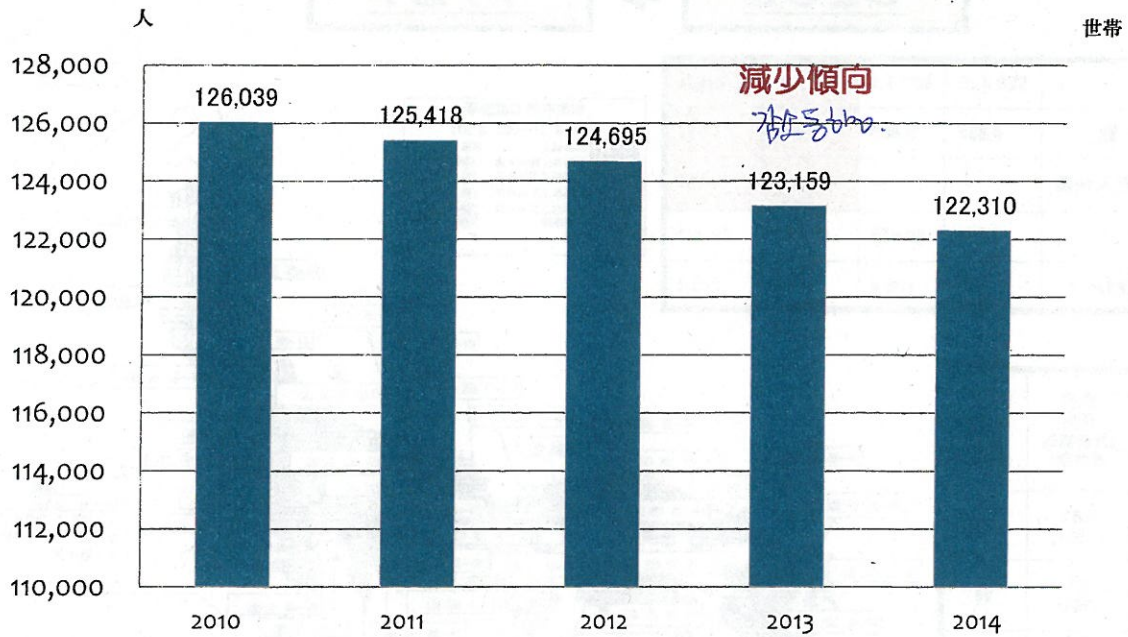
【人口密度】 180.9人 *1人あたり*

【市庁舎】 2015.1.1オープン

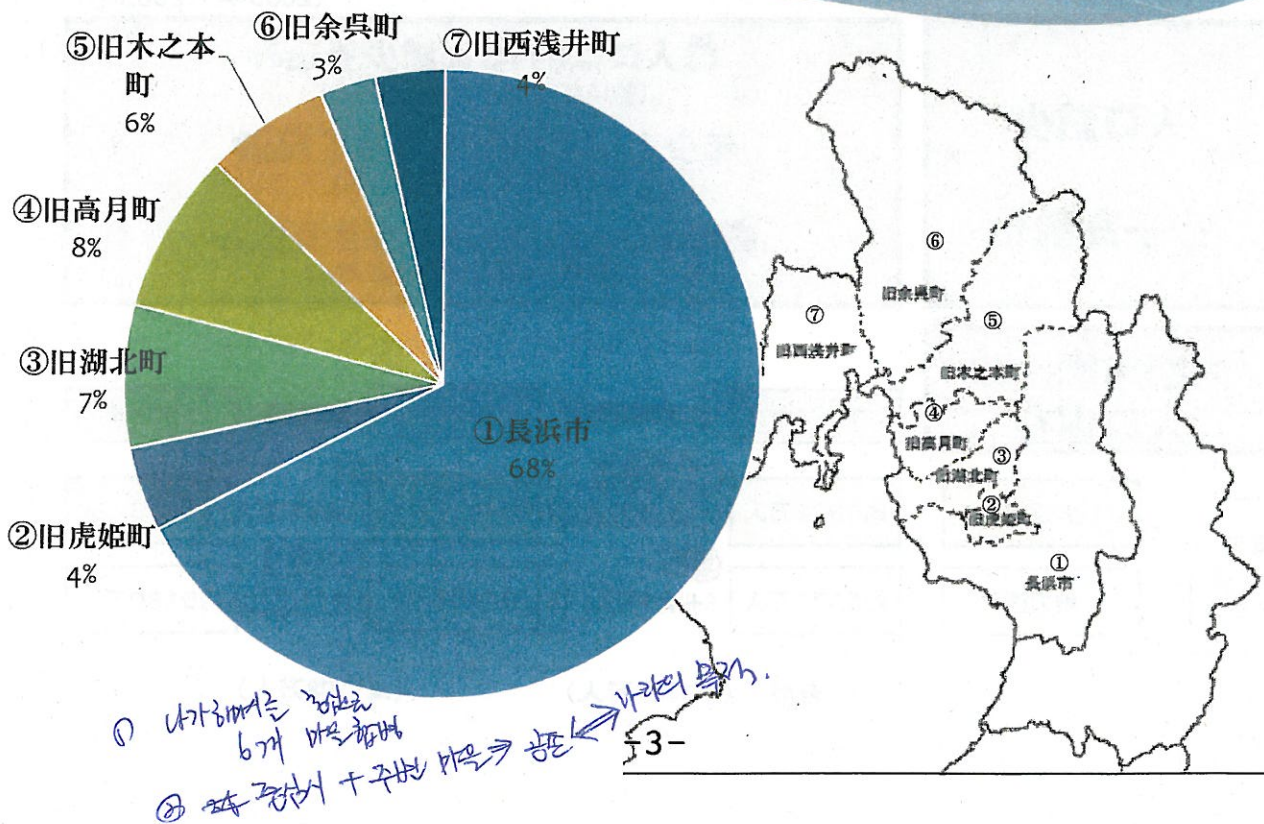




## ■ 長浜市の人口推移



## ■ 2010年 1市6町合併





## 市町村合併の現状

인상 행정자치부  
⇒ 10년간 2만여 개  
자치체 축소

平成11年3月31日

▲1505

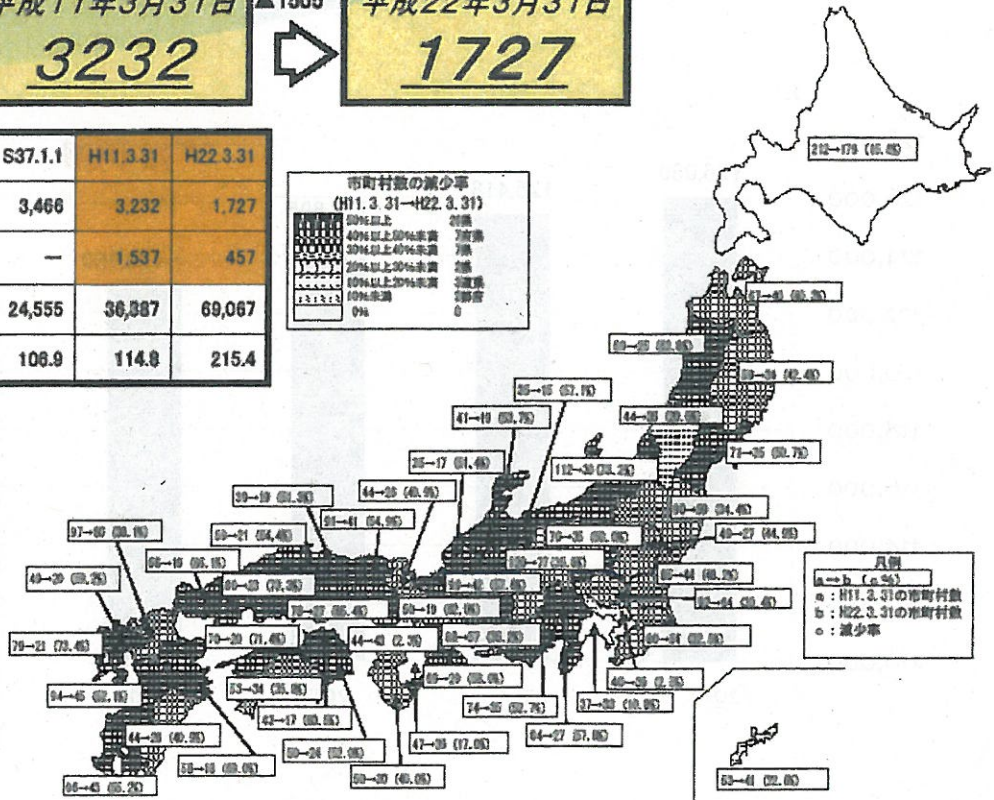
平成22年3月31日

3232



1727

	S28.9.30	S37.1.1	H11.3.31	H22.3.31
市町村数	9,895	3,466	3,232	1,727
人口1万人未満	—	—	1,537	457
平均人口(人)	7,864	24,555	36,387	69,067
平均面積(km <sup>2</sup> )	37.5	106.9	114.8	215.4



	合併件数 (合併関係 団体数)	H11.4.1 以降の 減少 団体数
旧法下 H11.4.1~	581 (1,991)	1,410
現行法下 H17.4.1~	61 (156)	95
計	642 (2,147)	1,505

## 地方圏の厳しい現状

(2005年→2035年)

人口減少

少子高齢化

大都市圏への  
人口偏在

総人口は約13%減少見込み (約12776万人→約11068万人)

年少人口は約40%減少見込み (約1759万人→約1051万人)

高齢者人口は約45%増加見込み (約2576万人→約3725万人)

1975年

2005年

2035年

三大都市圏

約5323万人

大幅増  
(+1095万人)

約6418万人

減  
(▲530万人)

約5888万人

地方圏

約5871万人

増  
(+487万人)

約6358万人

大幅減  
(▲1178万人)

約5180万人

合計 (+1582万人)

(▲1708万人)

東京  
名古屋  
大阪

2011  
2012  
2013  
2014  
2015  
2016  
2017  
2018  
2019  
2020  
2021  
2022  
2023  
2024  
2025  
2026  
2027  
2028  
2029  
2030  
2031  
2032  
2033  
2034  
2035



## 目指すべき方向

- 동양, 아시아, 기타 사람 유형 분석.
- 유전자와 체질 관련.

**人の流れの創出**  
**「東京圏への人口流出防止」**  
**「地方圏への人の流れの創出」**  
 (⇒内需の振興にも寄与)

## 分権型社会にふさわしい 社会空間の形成

**ライフステージに応じた  
多様な選択肢の提供**

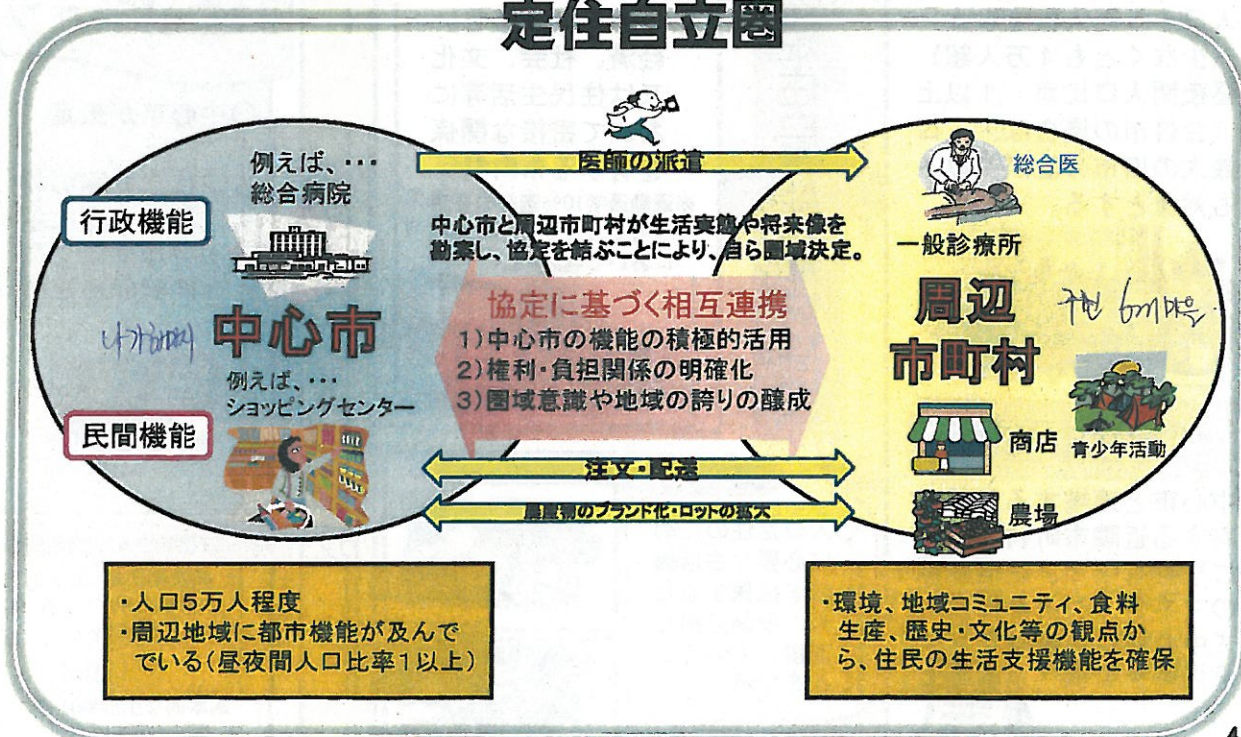
- 安心して暮らせる地域
- 中心市と周辺市町村が相互に連携して役割分担
- 生活に必要な都市機能(民間機能・行政機能)を確保

## 定住自立圏

**2**

## 定住自立圏のイメージ

## 定住自立圏



② 중합치아  
주변사랑 2개  
1:1 대응.  
③ ↓  
합병이 되면서  
하나의 "시퀀스"  
으로 구성

제①항/해상물 -5- 동상지에 설치한(즉 기능(사해)을 겸함)  
구변시설은 비록구하 (문장 앞부분을 강조함).

4



## 基本的考え方

### 選択と集中

- 全ての国民にとって必要な機能を確保しつつ、地方の自主的な取り組みを重点支援。
- 単なる地方へのバラマキではない考え方。

### 集約とネットワーク

- 圏域全体で役割を分担しながら生活機能を整備し、圏域全体を活性化。
- 中心市は都市機能を集約的に整備。周辺市町村は環境、地域コミュニティ、食料生産、歴史・文化等の観点から役割。

### 総務省としての支援

- ・ ICT(新しい公共事業)
- ・ 中心市に対する財政措置(交付税・地方債)
- ・ 中心市に都道府県の権限を移譲

### 各府省の支援

- ・ 医療、福祉 (厚生労働省)
- ・ 住宅、交通 (国土交通省)
- ・ 農林水産業(農林水産省)
- ・ …… 等

立案・実施の  
各段階で連携

## 定住自立圏

地方政策展開のプラットフォーム

3

## 定住自立圏構想推進要綱の概要

### 中心市

- ①人口：5万人程度以上  
(少なくとも4万人超)
- ②昼夜間人口比率：1以上  
(合併市の場合は、人口最大の旧市の値が1以上も対象とする。)



### ①中心市宣言

- 中心市と連携する意思を有する近隣市町村の意向に配慮しつつ、地域全体のマネジメント等において中心的役割を果たす意思等を公表



### ②定住自立圏形成協定

協定

- 人口定住のために必要な生活機能を確保するため、役割分担し、連携していくことを明示

協定

### 近隣市町村

- 中心市と近接し、経済、社会、文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町村
- ※通勤通学10%圏等の要素も考慮して、関係市町村において判断



近隣市町村



近隣市町村



### 定住自立圏の形成

### ③定住自立圏共生ビジョン

- 中心市が策定
- 定住自立圏の将来像や協定に基づき推進する具体的取組を記載



定住自立圏同士の連携も期待

高次都市機能を有する都市を中心市とする  
定住自立圏

連携

基本的な生活機能を有する都市を中心市とする定住自立圏

1



## 定住自立圏における取組例

### ○政策分野別取組状況

定住自立圏85圏域（平成27年2月27日時点）における主な取組例と圏域数

#### 市町村間の役割分担による生活機能の強化

**医療**  
84圏域 医師派遣、適正受診の啓発、休日夜間診療所の運営等

**福祉**  
65圏域 介護、高齢者福祉、子育て、障がい者等の支援

**教育**  
67圏域 図書館ネットワーク構築、文化・スポーツ交流、公共施設相互利用等

**産業振興**  
81圏域 広域観光ルートの設定、農産物のブランド化、企業誘致等

**環境**  
36圏域 低炭素社会形成促進、バイオマスの利活用等

#### 市町村間の結びつきやネットワークの強化

**地域公共交通**  
82圏域 地域公共交通のネットワーク化、バス路線の維持等

**ICTインフラ整備・利活用**  
37圏域 メール配信による圏域情報の共有等

**交通インフラ整備**  
51圏域 生活道路の整備等

**地産地消**  
41圏域 学校給食への地元特産物の活用、直売所の整備等

**交流移住**  
63圏域 共同空き家バンク、圏域内イベント情報の共有と参加促進等

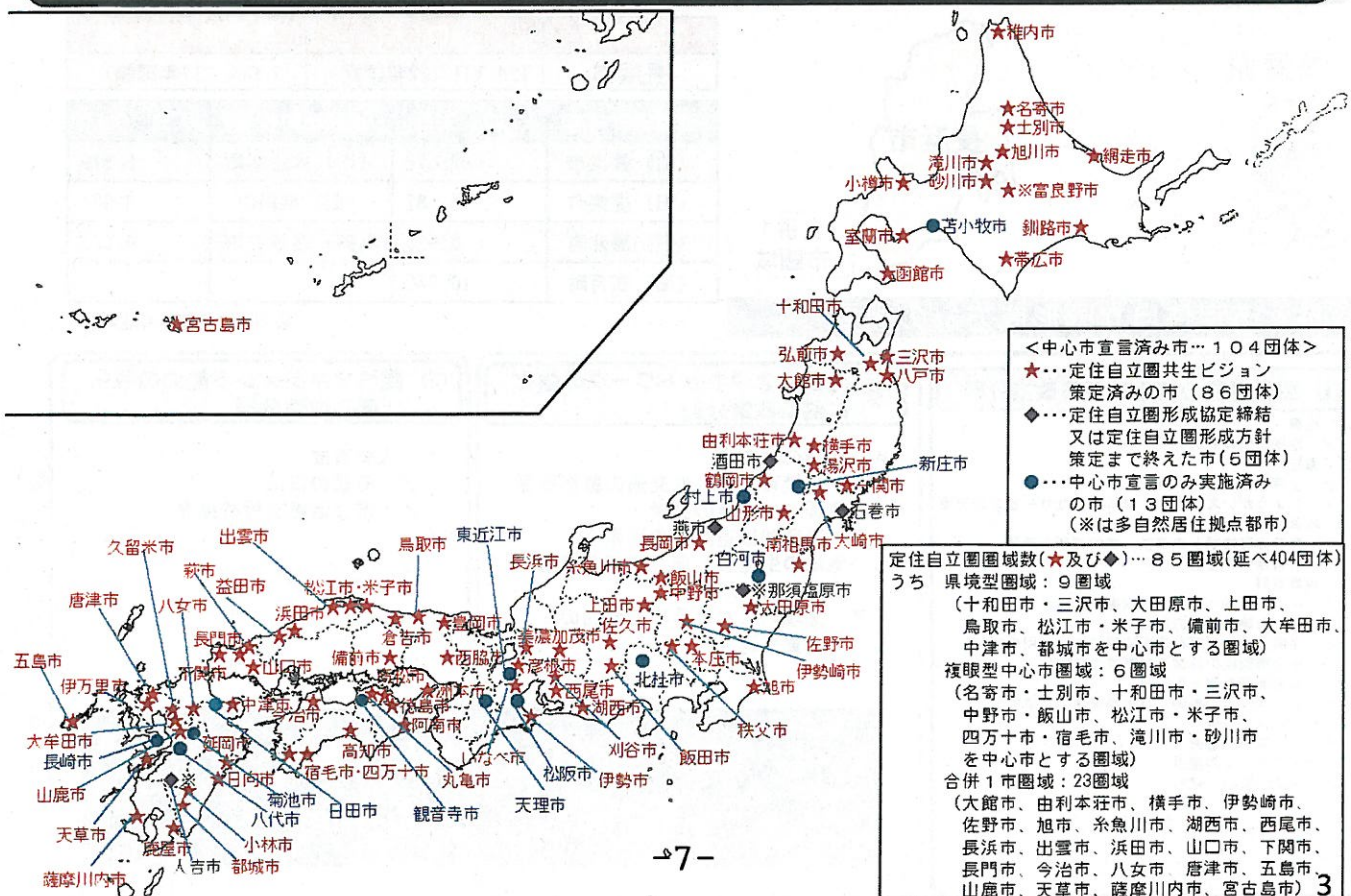
#### 圏域マネジメント能力の強化

**合同研修・人事交流**  
71圏域 合同研修の開催や職員の人事交流等

**外部専門家の招へい**  
32圏域 医療、観光、ICT等の専門家を活用

※各団体の協定書から総務省作成。全体整理の観点から取組を分類したため、各団体による協定書の分類の合計とは必ずしも一致しない。

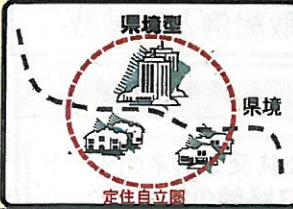
## 定住自立圏構想の取組状況（平成27年2月27日現在）





## 様々な圏域の形態

県境を超えて形成された定住自立圏（県境型）



住民の生活実態を踏  
まえ、県境の市町村  
間で圏域を形成

※いずれの圏域も県境を超えて地域住民の移動(通勤通学等)が存在

中心市名	憲法自立国エリア	県境での取組例
十和田市・三沢市	青森県・秋田県境	診療所運営事業
大田原市	栃木県・福島県・茨城県境	広域観光の推進、特産品の販路拡大
上田市	長野県・群馬県境	図書館連携事業
鳥取市	鳥取県・兵庫県境	山陰海岸ジオパークを核とした観光事業
米子市・松江市	鳥取県・島根県境	中海(県境の湖)の水質保全
備前市	岡山県・兵庫県境	広域観光ルートの設定
中津市	大分県・福岡県境	県境コミュニティバス路線新設
都城市	宮崎県・鹿児島県境	休日診療、夜間救急体制維持
大牟田市	福岡県・熊本県境	地域中小企業の振興等

### 他の圏域と重複する定住自立圏（圏域重複型）



**ある市町村が複数の圏域を形成**  
(複数の中心市と連携する近隣市町村)

中心市名	重複市町村
稚内市、名寄市・士別市	浜頓別町、中頓別町、枝幸町
八戸市、十和田市・三沢市	おいらせ町
上田市、佐久市	東御市、立科町
都城市、鹿屋市	志布志市
豊岡市、鳥取市	新温泉町
鶴岡市、酒田市	三川町、庄内町



大規模な市の圏域  
が他の圏域を包含  
して圏域を形成

中心市名	重複市町村
延岡市、日向市	日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村

広域的な合併を行った合併市の定住自立圏（合併一市型）



**広域的な合併を行った  
合併市**で人口最大の旧  
市の昼夜間人口比率が  
1以上のものは、**合併1  
市で定住自立圏を形成**  
(人口最大の旧市を中心地域、  
他の旧市町村を近隣地域とした  
「定住自立圏形成方針」を策定)

大館市 由利本荘市 幸徳川市 下関市 薩摩川内市 山鹿市 唐津市 久治市 旭市 出雲市 浜田市 伊勢崎市  
宮古島市 山口市 八女市 横手市 五島市 吾浜市 西尾市 長門市 天草市 湘南市 佐野市

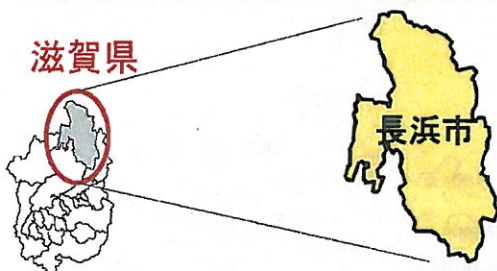
### 2つの市を中心市とする定住自立圏（核眼型）



2つの市が共同して中心市  
となり、圏域を形成

中心市名
名寄市・土別市
滝川市・砂川市
十和田市・三沢市
中野市・飯山市
米子市・松江市
四万十市・宿毛市

## 長浜市 定住自立圏形成方針の概要



## ○長浜市定住自立圏形成方針の概要

中心市名	人口(人)	昼夜間人口比率
長浜市	124,131 (22年国調)	1.086 (17年国調)

近隣市町村名	人口(人)	近隣市町村名	人口(人)
(旧) 長浜市	82,676	(旧) 木之本町	8,519
(旧) 虎姫町	5,582	(旧) 余呉町	3,931
(旧) 湖北町	8,926	(旧) 西浅井町	4,622
(旧) 高月町	10,242		

※平成17年国勢調査

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

- ✓ A 医療
  - ア 地域医療体制の充実
- B 福祉
  - ア 子育て支援体制の充実
  - イ しょうがい者（児）・高齢者福祉サービスの充実
- ✓ C 教育
  - ア 高等教育機関との連携、知的資源の活用
  - イ 教育環境の整備、充実
- D 産業振興
  - ア インキュベーション施設等を活用した新たな地域産業の創出
  - イ 企業立地及び既存産業支援による雇用の創出
  - ウ 中心市街地の整備及び商業の振興
  - エ 宿泊滞在型観光の推進
  - ✓ オ 農林水産業の振興及び地場産品の流通拡大
- ✓ E 防災体制の整備
  - ア 防災体制の整備
- ✓ F ライフラインの整備
  - ア 水道の整備・結合

(2) 結びつきやネットワークの強化  
に係る政策分野

- A 地域公共交通  
ア 持続可能な公共交通の維持確保  
B 交通インフラの整備  
ア 生活幹線道路等の整備  
C 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消  
ア 圏域内における地場製品の消費推進

(3) 圏域マネジメント能力の強化  
に係る政策分野

- A 人材育成  
ア 職員の育成  
イ 市民活動支援の拡充

- 민생 망형 로드
- 가계 과잉 자산 위기

国からの財政措置  
約1億円／年(5年間)



# 長浜市定住自立圏

構成市町村  
中心市宣言日

長浜市(合併1市圏域)  
平成22年11月29日

協定締結日

平成23年9月22日

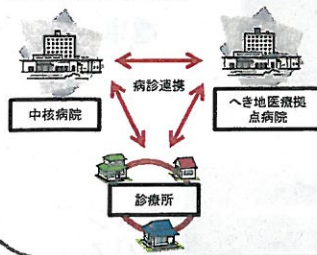
ビジョン策定日

平成23年11月25日

## 生活機能の強化

### <地域医療体制の充実>

市立長浜病院の機能充実と病診連携の強化、へき地医療の維持確保などに取り組むとともに、医師・看護師の人材確保に取り組む。

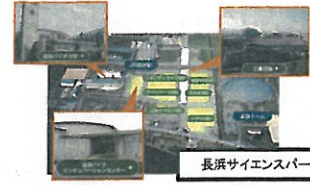


### <新産業育成事業>

湖北の提供を回り、新しい地域産業の創出と地域経済の発展。地域の企業家等の交流、連携、協業を支援するとともに、びわ湖環境ビジネスメッセの開催支援を行い、環境産業の創出、育成、ビジネスチャンスを図る。

### <バイオ産業推進事業>

今後成長が期待される「健康福祉」「観光」「環境」等の産業分野に、地域資源や基盤技術、長浜サイエンスパークのバイオ技術を活用した新たな産業の創出を図る。また、産業構造の多角化と高度化を推進し、雇用機会の増大と産業競争力向上による地域経済活性化を図る。



長浜サイエンスパーク

## 協働でつくる 輝きと風格のあるまち 長浜



### <戦国野外博物館構想推進事業>

浅井三代から三姉妹へと続く北近江の戦国史を、パネル展等で体感する博覧会の開催を推進する。



### <琵琶湖環状線利用促進事業>

北陸本線と湖西線の利便性の向上や、鉄道を活かした地域振興・活性化を図るため、観光誘客による鉄道利用促進、地域住民への鉄道利用助成、啓発宣伝などを行う。



### <交通対策事業>

駅を拠点とした二次交通網(バス、デマンドタクシー)を維持するための運行補助等や二次交通維持に向けた利用促進・利用転換のための情報提供等を行う。



### <地産地消推進事業>

地産地消を推進するため、直売施設等を通じた消費の拡大や学校給食への地元食材を積極的に導入する。また、生産者の育成や新鮮な農作物の生産・供給を促進するとともに、情報発信を行う。

### <NPO活動推進事業>

市民活動団体の設立やその活動を支援することにより、市民活動団体の健全な発展を促進するとともに、本市の公共事業における協働実施により、事業効果を高め、公益の増進を図る。



### <地域づくり活動事業>

連合自治会区域を一つの地域として、地域住民自らが地域課題に継続して取り組むための組織として「地域づくり協議会」の設立を促すとともに、設立後の活動を支援する。



### <職員研修事業>

長浜市人材育成基本方針を土台として、様々な手法を用いて職員の各種能力向上や意識改革を図る。

## 結びつきやネットワークの強化

## 圏域マネジメント能力の強化

## 地域医療体制の充実

名称	長浜赤十字病院 (三次救急医療)	市立長浜病院 (二次救急医療)	市立湖北病院
所在地	長浜市神前町	長浜市大戌亥町	長浜市木之本町黒田
設立年	昭和7(1932)年	昭和19(1944)年	大正4(1915)年
指定	救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センターなど	地域がん診療連携拠点、臨床研修指定など	へき地医療拠点病院など
診療科数	31科	26科	18科
病床数	504床	624床	153床





## ■交通ネットワークの強化



電車



デマ  
ン  
ドバス



デマ  
ン  
ド  
タ  
ク  
シー

## ■中心市街地の整備

### 黒壁スクエア及び中心商店街魅力強化事業

■万珍軒リニューアル事業 **Before After**

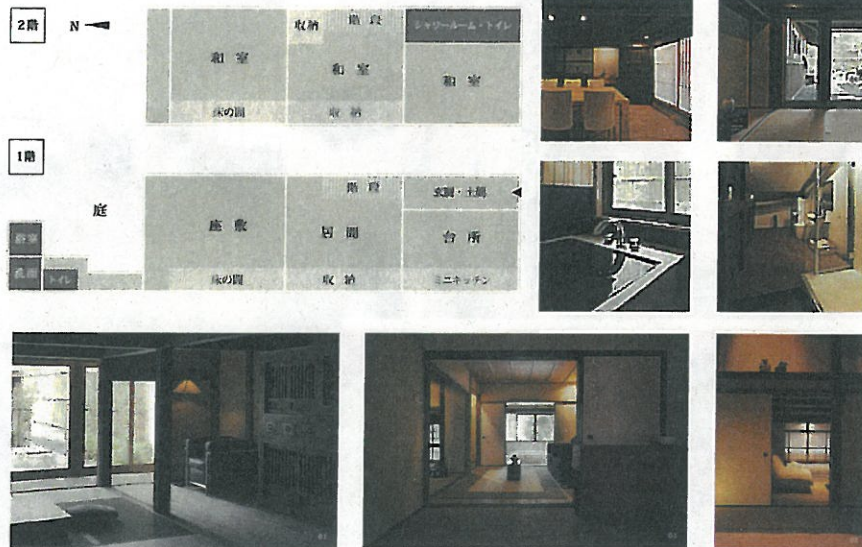
2010.7.14オープン  
季の雲ゲストハウス





## 季の雲ゲストハウス

stay



## 黒壁スクエア及び中心商店街魅力強化事業

■町家ホテル新設事業 **After**



2010.7.14オープン  
季の雲ゲストハウス





## 季の雲ゲストハウス

hotel

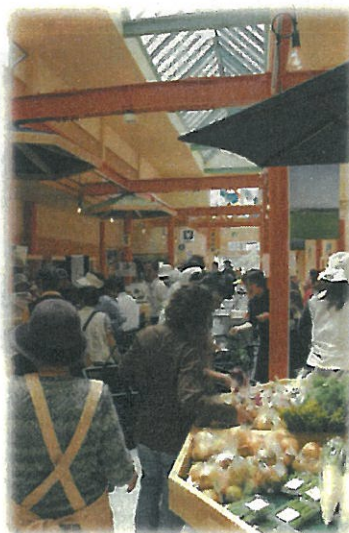


## 黒壁スクエア及び中心商店街魅力強化事業

■まちの駅整備事業 **Before & After**



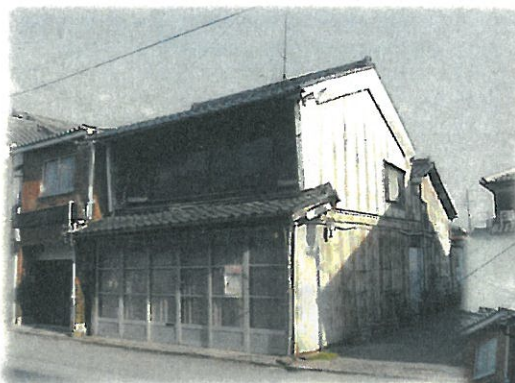
2010.5.21オープン  
長浜まちなかまちの駅  
四季体感市場





## やわた夢生小路商店街活性化事業

■工房併用店舗整備事業 **Before After**



### ➤ ギャラリー八草

工芸に関する人・モノ・情報の  
交流拠点

曳山文化に育まれた工芸技術の  
伝承と現代に合った豊かなライ  
フスタイルの提案



## ギャラリー八草





朝日町西部地区地域商業活性化事業  
■村瀬邸リニューアル事業 Before After

바다 지붕  
개방 시합.



2011.4.20オープン  
旗籠 白忠



旗籠 白忠

草八ーいそやす



➤ 元油問屋の町家を再生

⊙ 部屋数 | 4室  
蔵…2室 和室…2室

⊙ 料金 | 1泊2食付き

・ 蔵 | お市の蔵(ひと蔵貸切り)  
1F 10帖洋室 + 4.5帖和室 / 2F 10帖和室

・ 蔵 | お江の蔵(ひと蔵貸切り)  
1F 5.5帖 / 2F 8帖和室

2名利用…15,000円/人

3名利用…14,000円/人

4名利用…13,000円/人

\*お市の蔵は最大6名まで

・ 和室 | 2室

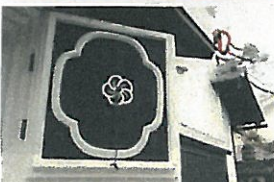
7帖洋室 + 8帖寝室 / 10帖和室

1名利用…15,000円/人

2名利用…13,000円/人

3名利用…12,000円/人

4名利用…11,000円/人



민가 개관  
현제 진행.



## ■ 中心地域と周辺地域の魅力をつなぐ



### ・ 長浜御坊大通寺

1602年創建の真宗大谷派寺院  
重要文化財(本堂、広間、含山軒及び蘭亭)  
国指定名勝(含山軒及び蘭亭)



### ・ 慶雲館

明治天皇行在所として1887年建設  
国指定名勝(庭園)



### ・ 旧長浜駅舎

現存日本最古(1882年建設)の鉄道駅舎  
第1回鉄道記念物



### ・ 長浜旧開知学校

県内初の小学校(1871年開校)

### ・ 長浜曳山まつり

日本三大曳山祭の1つ  
重要無形民俗文化財(国指定)  
ユネスコ無形文化遺産登録提案予定



## ■ 中心地域と周辺地域の魅力をつなぐ

### ・ 竹生島

湖上に浮かぶ周囲2kmの無人島  
国宝(宝厳寺唐門、都久夫須麻神社本殿)  
宝厳寺本尊の大弁財天は日本三大弁財天の一つ



### ・ 富田人形

県選択無形民俗文化財



### ・ 湖北野鳥センター

コハクチョウ、オオヒシクイなどの琵琶湖の野鳥が観察できる(約1,000羽/季)



### ・ 向源寺(渡岸寺)

国宝(十一面観音立像)

### ・ 浄信寺(木之本地蔵院)

日本三大地蔵院の1つ





## ●市内の音楽に関連する産業・歴史・文化

- ＜産業＞
- ・木之本町大音・西山は、琴や三味線、琵琶、胡弓などの邦楽器で使う楽器系（総・げん）の原系となる生糸（きいと）の生産が伝統技術として受け継がれている。
  - ・楽器系では、丸三ハシモト株式会社、西山生糸組合、木之本町邦楽器原系製造保存会が滋賀県伝統的工芸品の製造業者として指定を受けている。



- ＜歴史＞
- ・竹生島宝厳寺では、平経正が琵琶をひいて戦勝を祈願。謡曲『竹生島』など数多くの音曲にも、島の美しさがたえられている。
  - ・国内に千数百余り解られている弁才天（安芸の喜島の厳島神社、相模の江島神社）として霊験あらたかたことで知られている。



- ＜文化＞
- ・長浜豊山祭 囃子「シャギリ」は、1792年（寛政4年）頃から地域に根付き、長浜豊山祭囃子保存会が結成されてからは、担い手は主に山組の子どもたちになった。
  - ・人形浄瑠璃「富田人形」（滋賀県無形民俗文化財）の歴史は古く、江戸・天保時代にまでさかのぼる。



## ●音楽に関連する地域人材と連携による地域活性化

- ＜公益財団法人 長浜文化スポーツ振興事業団＞
- 文化・芸術に関する各種団体の事務局の運営、文化ホール等の施設の維持管理を行っている。
- ・長浜音楽協会、長浜音楽祭実行委員会
  - ・長浜市文化芸術協会、長浜市文化芸術団体協議会
  - ・リンコの会
  - ・ながはまシニアアンサンブル「銀の囀」
  - ・合唱団「輝らりキッズ」
  - ・「長浜文化芸術会館」「湊文化ホール」「長浜サンパレス」



- ＜市民による音楽活動団体＞
- 市民による音楽活動団体が多数存在しており、長浜音楽協会や長浜市文化芸術協会の各支部に所属しながら活発な活動が展開されている。

- ＜音楽協議会＞
- 他の音楽関連団体と連携を図りながら、イベントの企画運営や施設を活用する主体となる。
- ・5年後に5,000人規模のイベントを行うことが大きな目標。その中で、音楽を通じて地域を活性化し、10年後には音楽産業を起し定住化の促進を目指す。
  - ・H24年度は、2月中旬にイベントを行う。

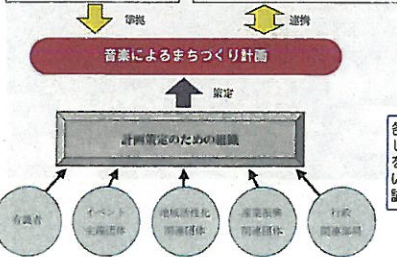
キックオフイベント  
「長浜ジョコジャム」



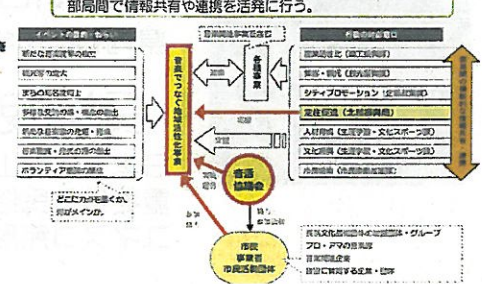
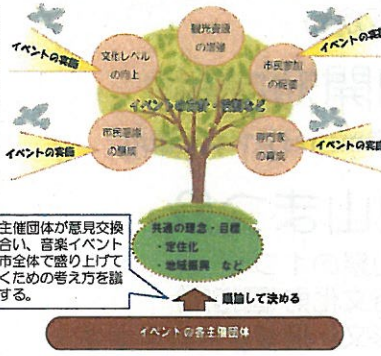
定住促進は産業創出や観光、人材育成、文化振興、市民協働、シティプロモーションなど幅広い分野を横断する事業であるため、より効果的な事業推進が図れるよう、庁内の部局間で情報共有や連携を強化を行う。

## ●上位計画・関連計画と新たな計画の位置づけ

- ＜上位計画＞
- ・長浜市基本構想
  - ・長浜市定住自立圏形成方針
  - ・長浜市定住自立圏共生ビジョン
  - ・長浜市北部地域活性化計画
- ＜関連計画＞
- ・長浜市文化ホール有効活用計画
  - ・長浜市文化芸術振興にかかわる基本方針
  - ・長浜市生涯学習社会づくり基本方針



## ●イベント事業の連携による相乗効果



## 文化財を中心とした地域活性化事業

- 【会 期】平成26年3月21日(金・祝)～4月13日(日)＜全21日間＞
- 【会 場】東京藝術大学大学美術館(東京都台東区上野公園12-8)
- 【主 催】長浜市、東京藝術大学
- 【後 援】総務省、滋賀県
- 【展 示】観音像18体(重文3体、市指定9体を含む)の展示  
観音の里プロモーションビデオの放映  
パネル展示(観音の里の風景やお守りする村人の様子)等

## 開催結果概要

- (1)入館者数 19,213人【915人/日】
- (2)図録販売数 2,040冊【購入率:10.6%】※通常:3%程度
- (3)アンケート返送数 3,051枚【返送率:15.8%】



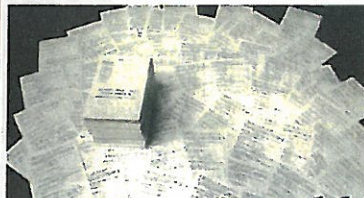
上:【展覧会の展示風景】 下:【展覧会の案内看板】



上:【展覧会会場の風景】



【プロモーションビデオの放映】



【アンケート葉書の一部】

## 参考:定住自立圏等推進調査事業の成果関連

- (1) 観音の里HPの開設  
<http://kitabiwako.jp/kannon/>
- (2) 観音の里Facebookページの開設  
<https://www.facebook.com/nagahama.kannon>
- (3) プロモーションビデオ「観音の里の祈りとくらし」の制作  
[http://kitabiwako.jp/kannon/k\\_photo/](http://kitabiwako.jp/kannon/k_photo/)
- (4) 観音の里テレビCMの放映  
[http://kitabiwako.jp/kannon/k\\_photo/](http://kitabiwako.jp/kannon/k_photo/)